

この時期、空では鳥が列のように、棹のように、連なって飛んで来る景を見ることが出来ます。その鳥とは雁、鴨、鶴、白鳥など様々ですが、多くは春まで山林や水辺で過ごし、暖かくなるとまた北へと帰っていきます。その姿に旅心をかき立てられたり、郷愁を誘われたりしますが、ここで一句、とても魅力的な作品を紹介します。

渡り鳥みるみるわれの小さくなり 上田五千石

鳥の視点から下界の人間を見ているということですね。発想の妙というものです。



さて、過日は大変盛り上がりました。10月20日（金）の午後、「発信力（プレゼン力）向上研修」が体育館にて行われました。東京から「音楽座ミュージカル」の方々に講師に迎え、「自分を表現すること」「他者を受けとめること」「目標を共有したチームを作ること」など、全校生徒と全先生方とで一緒に学びました。身体を動かすワークショップであったので、汗も結構かきましたね。皆さんの表情から達成感が伝わってきました。先生方も楽しそうでした。これからも、真のコミュニケーションについてともに実践的に理解していきましょうね！

返信の待たるる文や雁の声 幸恵